

所属（ 水産振興課 ） 担当者（ 大塚 ） 内線（ 464 ）

タイトル
全国7か所の実証地域に選定 漁業者の協力による海底ごみ回収実証事業（環境省事業）
概要（発表内容を簡単に記入してください）
<p>宗像市沿岸域では漂着ごみや漂流ごみが問題となっており、特に海底ごみは漁業の支障や漁場環境の悪化が懸念されており、これまでも漁業者による漂流ゴミの回収を実施してきました。</p> <p>今回、環境省事業「漁業者の協力による海底ごみ回収実証地域」へ宗像市が応募し、宗像市沿岸域が全国7か所の実証地域の一つとして選定されました（5月19日 環境省記者発表）。</p> <p>環境省と連携した調査・分析により、海底ゴミの発生源特定や効率的な回収方法の確立など、「Save the Sea（海を守る）」を合言葉とした海の環境保全活動のさらなる推進を目指していきます。</p>
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能）
<p>■事業内容</p> <p>①GPSロガーを携帯した船舶による海底ごみの回収（延20隻日程度実施） （カレイ刺し網漁業、フグはえ縄漁業の操業とあわせて実施）</p> <p>②回収された海底ごみの分別・保管</p> <p>③環境省による調査・分析（協力体制の構築、効率的な回収、効果測定、海底ごみの発生源特定などの検討に資するマニュアルを策定予定）</p> <p>※調査の詳細については、今後、環境省と検討・協議のうえ決定 ※実証事業は2020年度から3年程度の継続を予定</p> <p>■漁業者による漂流ごみ回収の実績</p> <p>①カレイ刺し網漁業（2014年度から実施） 漁期前（12月～1月頃）に毎年実施 *2019年度は45袋を回収（35ℓ/袋）</p> <p>②まき網漁業・フグはえ縄漁業（2003年度から実施） 網漁期前（まき網漁4月中旬～11月中旬、フグはえ縄漁11～3月中旬）に毎年実施 *2018年度は約2,200kgを回収</p> <p>【参考】宗像市の海の環境保全の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティアや民間企業などによる海岸清掃や、漁業者による海岸漂着物臨時回収処理事業（環境省補助）等の環境保全活動に取り組んでいる。 ・2014年からは産学官民連携によるシンポジウム宗像国際環境100人会議を開催。また、民間企業と連携し、海の環境保全をテーマとしたポテトチップスを販売するなど、「Save the Sea」を合言葉にした海の環境保全活動を推進中。
本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先（所属、担当者名、電話）
<p>【事業実施に関すること】 宗像漁業協同組合本所 石橋参事 TEL0940-62-1500</p> <p>【記者発表に関すること】 宗像市水産振興課 大塚、西島 TEL：0940-36-0031</p>